

	10:15～11:00	11:25～12:10	12:35～13:20	13:45～14:30	14:55～15:40	16:05～16:50
A会場		P10 PatSeer Technologies Pvt. Ltd.	P15 エクセルスカウト／ティーティーコンサルタント	P20 (株)ユアサポ	P25 アイビーリサーチ(株)	P30 Smart-IP(株)
		次世代の特許・意匠リサーチ	知財戦略の進化を支えるAgentic AI: 構想・保護・収益化の次なるかたち	明細書作成の革命: 「自分が書いたような」AI文書生成の最前線	■特許専用LLM■が戦略的に明細書生成!	生成AI × 明細書作成&中間対応の最前線 ～"appia-engine"によるスマートドラフティングの実現～
		本講演では、AIによる特許検索と分析を取り上げ、処理速度と精度の向上に焦点を当てます。PatSeerの先進技術が特許調査をどのように変革し、研究開発およびイノベーションチームを効率的に支援するかを探ります。	今、AIは“指示待ち”の時代を超え、自ら考え動く「Agentic AI(エージェントックAI)」へと進化しています。本セッションでは、XLSCOUTが開発したAgentic AIツール ― Specminer と ParaPics ― を通じて、「請求項の深掘り解析」「明細書からの要素抽出」「技術図面と特許との視覚的マッピング」など、これまで属人的だった工程の高度化・効率化の方法をご紹介します。これらの機能は、Invalidator LLM や ClaimChart LLM などのLLM搭載ツールと連携し、発明創出から特許取得・収益化に至るまでの一貫したAI活用を実現します。知財・ライセンス・R&D・特許戦略の最前線にいる皆さまに、Agentic AIによる“ひとつ先の知財業務”をご提案します。	AIが人間と協働し、専門性の高い特許書類を「自分らしい文体」で生成する最新手法を、具体的な導入事例とともにご紹介します。	特許に特化した生成AIが各段落を順に生成し、戦略的かつ高品質な明細書作成ができます。 ※一切クラウド等にはアクセスいたしません。 特許専用LLM単独で明細書生成が可能です。 指定分野の公報データをデータベース化することでRAG方式の利用も可。	特許実務にAIをどう活用すべきか、迷っていませんか?AI導入では、業務DXの中でAIをどう組み込むかがカギとなります。appia-engineは、使いやすいUIとAIの連携で明細書作成・中間対応を支援するサービスです。今回は、その活用法や導入事例を通じて、AI導入のポイントをお届けします。
B会場	P8 (株)ジー・サーチ	P11 北京鉦霖知識産権代理有限公司	P16 (株)ハイパーギア	P21 (株)アナクア	P26 アズテック(株)	P31 北京隆安法律事務所
	研究開発・技術戦略を成功に導く! 技術探索アプローチ	AI関連出願の中国無効審判実務	知財文書の管理は「所在の明確化」と 「長期の真正性確保」が鍵!	マイクロソフトが語るAI活用のリアル: アナクアと進める知財業務の変革戦略	生成AIで変わる知財調査: 現場での実践とその未来像	事例から見る企業における 専利リスクおよびその対応策
	生成AIが普及する一方で、情報の信頼性や裏付けがこれまで以上に問われています。本セッションでは、技術探索の初期調査を軸に、信頼性の高い情報をもとにした効率的な調査アプローチをご紹介します。また、科学技術情報データベース「JDreamⅢ」をはじめとした当社の調査分析サービスで実施できる、調査効率化とアイデア創出のヒントをお伝えします。	中国は、AI関連特許の出願大国の一つであり、AI関連特許出願の適格性、開示要件、及び進歩性判断は、昔から話題になったものの、出願段階に限られている。本プレゼンテーションでは、中国におけるAI関連出願の無効審判事例を基に、AI関連出願の中国における戦略を共有する。	知財の文書管理では「目的の文書が見つからない、探すのが大変」と悩む企業も多いです。特許係争など、将来的なリスクを回避するためには、文書を適切に管理し、長期的な真正性の維持が不可欠です。本セミナーでは文書の所在を明確化し、タイムスタンプによる真正性確保を自動で実現する方法を、導入事例を交え紹介します。	マイクロソフト社特許エンジニアリングおよび知財オペレーション担当シニアディレクター、ラグー・チナグダーバ氏とアナクアの共同講演。マイクロソフト社が考えるAI活用の課題とメリット、AI導入の際のリアルな経験や知見、そしてAI活用戦略をアナクアのプラットフォームを通してどのように実行に移しているかを紹介します。	生成AIで知財調査は次のステージへ——調査・分析のプロフェッショナルが、生成AIの活用における取り組みとその将来像について語るトークセッションです。 [パネリスト] 佐藤総合特許事務所 佐藤 寿 氏 アズテック株式会社 静野 健一 (2023年特許検索競技大会三分野ゴールド制覇賞)	本資料は、企業における専利リスクとその対応策について、具体的な事例を基に解説しています。専利権の帰属問題、新規性や進歩性の調査不足、優先権期間の管理、特許侵害訴訟の対応など、重要なリスクとその回避方法が網羅されています。また、研究開発から特許出願までの各段階における注意点や、企業がリスクを管理するための制度の必要性についても言及し、企業の知財戦略に役立つ実践的な内容となっています。
C会場	P9 (株)amplified ai	P12 Marq Vision Inc.	P17 中国深セン市賽恩倍吉知識産権代理有限公司	P22 (株)アイパクトリ	P27 トヨタテクニカルディベロップメント(株)	P32 (株)エムニ
	特許データプラットフォームと AIエージェントの融合	世界の担当者が語る! AIブランド保護の事例紹介	米中市場におけるブランド保護戦略と 迅速権利行使実務	AIを超える、増強知能による 特許翻訳「AIT」のご紹介	AI翻訳が導く特許出願の新時代 ～スマートな権利化の秘訣～	松尾研発!時間・コストを99.9%削減! 「AI特許ロケット」
	AIエージェントがAmplifiedのデータプラットフォームを使って特許調査の検索からレポート作成を全自動で行う様子を実演します。また、その他の様々なエージェント機能(明細書作成やポートフォリオ分析)を紹介し、今後の知財業務の方向性を議論します。	「AIで本当にブランドが守れるの?」—そんな疑問を抱く人に聞いてほしい。マークビジョンを導入した欧米の著名ブランド担当者が、導入前の課題、なぜマークビジョンを選んだのか、導入後にどう変わったのか、AIがどう役立っているのかを現場視点で語る。日本企業にも通じるヒントと気づきが詰まったセッション。	意匠権・実用新案権・商標を活用した効果的なブランド保護の構築手法と、ECプラットフォームにおける侵害発生時の迅速対応策を習得いただけます。米中両国の制度の差異と実践上の要点に焦点を当て、激化する市場競争において優位性を確立し市場地位を固めることを支援します。	AIが基盤となり専門家が完成させる特許翻訳【AITの特徴】 ・自社LLMを活用し機密データを安全に保護 ・高品質な翻訳でレビュー時間を短縮 ・技術分野に適した単語での翻訳 ・低コストで高くオリエティな翻訳を実現	日→英・中・東南アジア言語へのAI翻訳における出力傾向と、特許明細書翻訳データを活用した翻訳エンジンのアダプテーション事例に加え、OA解析や審査実態に基づく新発想のポストエディット事例をご紹介します。翻訳のみならず、AI活用による米国中間処理もご紹介。スマートな権利化を目指す方必見です。	AI特許ロケットはLLMを始めとする独自のAI技術を用いて、数百～数千件の特許の全文を精査・分析し、戦略の元になる示唆を圧倒的なスピード・低コストで提供します。 得られる示唆の例として、高精度特許マップを作成し、競合企業や業界トレンド、自社のアイデアに対して類似性の高い特許の提案などが挙げられます。
D会場		P13 (株)マークアイ	P18 トヨタテクニカルディベロップメント(株)	P23 GMOブランドセキュリティ(株)	P28 GMOブランドセキュリティ(株)	P33 (株)HackCamp
		板挟みは辛いよ… ネーミングを決める際の商標担当者の悲哀	今後の広がるSEPリスク	商標活用の新分野! ブランドを模倣から守るVMCとは?	商標管理に効く! 注目のMCPとは	IPランドスケープ×生成AIで描く新たな事業戦略
		現場担当者の希望するネーミングを通したい。一方で商標を甘く見るわけにはいかない。両方に挟まれて悩む商標担当者及び責任者の方々は多いでしょう。この課題をコミュニケーションで改善していくにはどうするか。長年のネーミング制作経験をもとに両者の立場を考えながら進めるコミュニケーション方法をお伝えします。	自動車、スマート家電、工場設備、医療機器など、さまざまな分野で通信機能の搭載が当たり前となる中、それら通信機能に関する標準必須特許(SEP)にまつわるリスクが、幅広い産業領域へと広がっています。ある日突然、あなたの業界にも高額なライセンス要求が突きつけられるかもしれません。本セミナーでは、そうしたリスクへの備えとして押さえておきたいSEPの基礎知識から最新の制度や国際的な動向までを わかりやすくご紹介します。	商標の出所表示機能を活用した「VMC(企業ロゴ所有証明書)」という新しい仕組みをご存じですか?ブランドの模倣被害を防ぐ手段として、国内外で導入が進んでいます。本セミナーでは、その概要と導入メリットを解説します。	AIやチャットツールとシステムをつなぐ新たな仕組み「MCP」が注目されています。本セミナーでは、MCPの基本的なしくみと実際の使い方を、商標管理ツール「BRANTECT」の機能を用いてご紹介します。	知財・技術情報を戦略や事業にどう活かすか。多くの企業が直面するこの課題に対し、本セミナーでは、正林国際特許事務所とHackCampによる共創の取り組みをご紹介します。生成AIツール「共創ナビvan」を活用し、特許群からテーマを導き、事業化へと展開する実践的な共創モデルを解説します。
E会場		P14 Chadha & Chadha	P19 NGB(株)	P24 クラリベイト・アナリティクス・ジャパン(株)	P29 NGB(株)	P34 (一社)発明推進協会
		インドにおける知的財産部門設立後の特許権行使	ポートフォリオ構築のための特許分析新指標と 生成AI活用の可能性	コンテンツ活用が拓く知財戦略の未来: データとAIによる可視化	インド特許出願実務ガイド ～2024年規則改正をふまえて～	合理的な知財戦略で Office Actionは減らせる!!
		本講演では、インドにおける知的財産部門の設立後に見られる主要な傾向である、審理期間の短縮、仮差止命令および恒久的差止命令の発令件数の増加、そして損害賠償額の高額化に焦点を当てます。	生成AIを活用した特許分析に役立つ情報収集と、出願や放棄のメガトレンドに関してNGBが提供する新指標による特許分析を融合し、客観性と戦略性を備えた特許ポートフォリオ分析について発表します。 年金管理等の知財コストの費用対効果向上に有効な特許ポートフォリオの分析事例を紹介します。	クラリベイトの特許ソリューションは、独自のコンテンツを活用し、お客様のユースケースに着目した製品強化とAI機能の搭載に注力しています。本講演では、知財業務へのAI活用についてグローバルな視点から特許ソリューションの最新の製品情報をご紹介します。当社のデータをお客様のAIにて活用いただくための取り組みや活用例について解説します。	人口が世界第一位となり、マーケットとして重要性を増すインド。その特許制度の概要と2024年特許規則改正後の実施報告書を解説します。弊社の特許出願仲介業務や年金管理業務の経験に基づき、またインド派遣で収集した情報も交えながら、制度のポイントや実施報告書対応を具体例とともにご紹介します。	海外出願に対する、不本意な補正、膨大なコスト、長すぎる権利化プロセス、権利化の断念...これらの問題は、OAの回数やOA応答の質と密接な関係にあります。OAを減らし、発行されたOAには最適な応答を行い、早期に特許査定を実現するためには、何が必要か。国内外の実務者とともに質の高い情報を紹介します。

	10:15～11:00	11:25～12:10	12:35～13:20	13:45～14:30	14:55～15:40	16:05～16:50
A会場	P35 (一社)発明推進協会 合理的な知財戦略で Office Actionは減らせる!! 海外出願に対する、不本意な補正、膨大なコスト、長すぎる権利化プロセス、権利化の断念...これらの問題は、OAの回数やOA応答の質と密接な関係にあります。OAを減らし、発行されたOAには最適な応答を行い、早期に特許査定を実現するためには、何が必要か。国内外の実務者とともに質の高い情報を紹介します。	P39 Patsnap 新AI AGENTによる知財ソリューションの強化 Patsnapは最新鋭のAIを駆使し、知財ソリューションを強化しています。Patsnap AnalyticsのAI要約、自動分類、新AI AGENTシリーズEureka（新規性調査、Markush Claim作成補助など）により知財業務をサポートします。Analyticsの新規機能を紹介します。	P44 アイビーリサーチ(株) ■特許専用LLM■が戦略的に明細書生成! 特許に特化した生成AIが各段落を順に生成し、戦略的かつ高品質な明細書作成ができます。 ※一切クラウド等にはアクセスいたしません。 特許専用LLM単独で明細書生成が可能です。 指定分野の公報データをデータベース化することでRAG方式の利用も可。	P49 Questel(サイバーパテント(株)) AIで実現する特許検索・解析の効率化と活用事例紹介 AIアシスタント「Sophia」が、検索条件の作成から特許文献の要約、自由な対話を通じた解釈支援まで、知財業務の新しい可能性を広げます。弊社の製品担当からのご案内に加え、実際のユーザ事例としてコベルコビジネスパートナーズ(株)産業情報部の調査担当者様より活用事例をご講演いただきます。	P54 (株)IP-RoBo 商標出願代理トップクラスの 特許事務所の商標AI活用最前線 年間2,000件以上の商標代理を手がけており、商標出願代理件数も我が国トップクラスの特許事務所が語る、商標調査AI「TM-RoBo」活用最前線×業務効率70%削減、見落とし防止、人材育成の実現。AIと人の理想的な協業で、高品質な知財サービスを提供する秘訣を深掘りします。	P59 (株)ユアサポ AI活用で実現する弁理士・知財部員の 業務効率化と働き方改革 AI導入で作業時間を劇的に短縮し、弁理士・知財担当者が高付加価値業務に集中できる共創型ワークフローの実践ポイントを解説します。
B会場	P36 (株)ジー・サーチ 技術戦略を革新する「論文×特許×専門紙」の 統合可視化プラットフォーム 「技術動向・研究者情報」など目的別の検索画面から結果を自動でグラフ化する「JDream Innovation Assist」の紹介です。論文・特許から得られる技術の研究・開発情報に、専門紙から得られる技術の事業化や企業の事業活動の情報を合わせることで技術俯瞰を効率化します。事業戦略や新規テーマ創出など初期調査の効率化に貢献します。	P40 (株)ASU AIが描く特許調査の未来 ー対比から可視化まで瞬時に! 新製品Alcrea(アイクレア)をご紹介します。 1・ChatGPTー最新モデルAI を利用して先行技術調査、動向調査、侵害調査時に公報、出願Word文書と比較して瞬時に対比表を作成し、調査業務を支援します。 2・自社知財データを各グラフで分析、表記しAIでコメント評価をします。講師ASU	P45 Axelidea(株) AIが拓く創造知のフロンティア: ひらめきを連れてくるAI 創造知のフロンティアで、AIがひらめきの扉を開く。AXELIDEA Patentが新たなひらめきを導きます。特許番号から瞬時に価値を見出す次世代システムを無償公開。専門家の知見をAIに結集し、知財戦略・技術移転・新規事業まで包括的に提案。日本企業の無形資産価値を飛躍的に高める、知財イノベーションの最前線をご紹介します。	P50 Marq Vision Inc. AIを駆使したブランド保護の最前線: グローバルブランドに選ばれる理由とは? ハーバード・ロースクール出身、シリコンバレーに拠点を置くブランド保護をAIで革新するマークビジョン創業者兼CEO Mark Leeが登場。たった5年で250社以上にまで急成長した裏側、グローバル企業がマークビジョンのAIのブランド保護を選ぶ理由、IPやブランド保護業界の未来を語る必見セッション!	P55 中国知識産権出版社有限責任公司(IPPH) AI時代が導く中国特許検索・分析の変革 中知慧海(PatSea)BigDataとインテリジェント・サービス・システムの機能に基づき、中国特許の検索、閲覧、ソーティング、分析など多くの場面における作業効率の向上、作業難易度の低減、より多くの事業実現を目指すインテリジェント検索、機械翻訳、ビッグデータ関連加工、生成大規模モデルなどのAI技術の活用を紹介する。	P60 (株)HackCamp 三菱電機に学ぶ、 生成AIで加速する知財を起点にした事業開発 本講演では、三菱電機の実践事例をもとに、「共創ナビivan」を活用することで、技術資産(特許・ノウハウ)を活用しながら、人とAIとの共創によって事業創造の課題を改善したプロセスとその要因をひも解きます。知財を起点にイノベーションを生み出す組織づくりのヒントを、ぜひお持ち帰りください。
C会場	P37 (株)エムニ 松尾研発!時間・コストを99.9%削減! 「AI特許ロケット」 AI特許ロケットはLLMを始めとする独自のAI技術を用いて、数百～数千件の特許の全文を精査・分析し、戦略の元になる示唆を圧倒的なスピード・低コストで提供します。 得られる示唆の例として、高精度特許マップを作成し、競合企業や業界トレンド、自社のアイデアに対して類似性の高い特許の提案などが挙げられます。	P41 アイ・ピー・ファイン(株) 研究現場の情報ハブ 「R&DランドスケープIIC」&知財DXラボ報告 知財情報・文献・画像・非特許情報を一元活用。R&DランドスケープIICが切り拓く、研究開発と知財部門をつなぐDXの最前線をご紹介します。	P46 (株)デンネマイヤー IPライフサイクルの最適化: 管理システムDIAMSとIPサポートサービス DIAMSシリーズに新機能登場。導入時の最大の課題であるデータ移行に対し、支援サービスもご提案いたします。コスト・リスク・工数を最小限に抑え、システムのスムーズな移行と運用を実現。IPライフサイクルに対応したテクノロジーと専門知識を融合し、導入から運用まで、安心してご利用いただける環境を整えます。	P51 クルツジャパン(株) 【偽造防止対策】複製不可能な 暗号化QRコードによる真贋判定サービス 偽造品やグレーマーケット対策でお困りの企業の方必見!KURZ SCRIBOSのValiGate®は、独自開発技術の特殊な印刷パターンを使ったQRコードによるオンライン真贋判定ソリューション。正規品判定に加え、不正流通の検出、マーケティングツールとしても活用可能。最新のグローバル事例と共に紹介します。	P56 (有)アクアプラネット AIと独自検索エンジンにより 特許調査自動化を実現、目視不要! 本セミナーでは、AIと独自の検索エンジンを搭載した特許検索サービスPatVisualをご紹介します。従来の特許検索は検索式作成、目視確認が必要でしたが、PatVisualでは難しい検索式の作成も不要、検索結果の細かな目視確認も不要で、特許調査を自動化できます。AIと独自の検索エンジンが類似特許を自動的に抽出し、近い順に内容を可視化、比較結果を自動的に作成します。	P61 巨群国際特許商標法律事務所 台湾の企業が日本の企業共に協力して発明を 守るためのネットワークを構築する 台湾企業は高度な技術力と革新性を持ちながらも、日本市場への展開や特許戦略において多くの課題に直面しています。本講演では、巨群事務所が長年にわたり日台の知財実務に携わってきた経験をもとに、台日企業間の連携による知財保護ネットワークの重要性と構築方法についてご紹介します。特に共同出願、ライセンス契約、情報共有の仕組みづくりなど、実践的な視点からお話しします。
D会場		P42 トヨタテクニカルディベロップメント(株) swimyの生成AIエージェントで イノベーションを加速する 発明アイデアを入力するだけで、図やフローチャート付きの発明提案書を自動生成。さらに、技術概要を入力するだけで特許情報を分析し、グラフ付きの解析レポートまで自動作成。化学式や数値範囲にも対応し、発明創出から特許分析までを一気通貫で支援するswimyの最新生成AIエージェントの進化を、本セミナーでぜひご体感ください。	P47 (株)WIPS POSCOの特許専門家が発表する 「新規事業企画に活用されるAI-融合IP戦略事例」 今日、産業全体においてAIの活用が急速に広がり、企業もそれに基づいて新しい事業機会を模索しています。そんな中、IP戦略も単なる権利確保を超え、将来のビジネス方向性に繋がる核心戦略要素として浮上しています。今回は、韓国のグローバル企業POSCOの特許専門家をお招きし、AIとIPを融合し、新規事業企画に活用する戦略を実際の事例を通じて紹介します。	P52 GMOブランドセキュリティ(株) GMOが解説するなりすまし対策の今 なりすましによる被害は、企業にとって深刻なリスクです。 本セミナーでは、GMOブランドセキュリティが提供する「GMOなりすましZERO」の診断ロジックを紹介し、効果的な対策手法を総合的に解説します。	P57 GMOブランドセキュリティ(株) iPRAD RYOMA byGMOが提案する、 次世代の知財管理 これからの知財管理に不可欠な機能と「知財データの戦略的活用」についてご紹介します。 ビジネスに活かすデータ分析を可能にし、業務の流れを意識した機能で、直感的かつスムーズな権利化業務を実現し、担当間のコミュニケーションロスを大きく削減します。iPRAD RYOMA byGMOの全貌をぜひご体験ください。	P62 トヨタテクニカルディベロップメント(株) AI翻訳が導く特許出願の新時代 ～スマートな権利化の秘訣～ 日→英・中・東南アジア言語へのAI翻訳における出力傾向と、特許明細書翻訳データを活用した翻訳エンジンのアダプテーション事例に加え、OA解析や審査実態に基づく新発想のポストエディット事例をご紹介します。翻訳のみならず、AI活用による米国中間処理もご紹介。スマートな権利化を目指す方必見です。
E会場	P38 アール・ダブリュ・エス・グループ 知財業務の効率化に! 今こそ活用したいワンストップ知財サポート グローバル出願に必要な知財関連業務を、ワンストップで支援するRWS。テクノロジーと専門知識を融合させた知財ソリューションにより、知財ご担当者様がコア業務に専念できる環境づくりをお手伝いします。本セッションでは、これらのソリューションのご紹介に加え、日本語インターフェースに対応し、さらに使いやすくなった外国出願ポータル「inovia」と、特許年金ポータルの最新デモもご覧いただけます。	P43 (株)マークアイ 中国における知財最新状況 ～出願数増加に伴う企業戦略～ 本セミナーでは出願動向や実務上の留意点、中国特許庁の最新動向、調査・監視の重要性を解説し、日本企業にとって実効的な対策となる情報について、日中双方の専門家である柳沈法律事務所の張華威先生をお招きし、ご講演いただきます。	P48 クラリベイト・アナリティクス・ジャパン(株) 知財管理システムIPfolioが実現する 効率化・AI活用 Salesforceプラットフォームを基盤とした知財管理システムIPfolioは、導入企業が増加し、知財管理の高度化・効率化を実現しています。本講演では、ユーザーから高く評価されている中核機能、当社の他ソリューションとの連携による業務最適化やAIを活用したアップデート、今後の展望についてご紹介します。	P53 日本パテントデータサービス(株) マルハニチロからUmiosへ! ～マルハニチロの知財活動紹介～ マルハニチロ株式会社におけるゼロからの知財部門立ち上げの経緯と経営企画部内に設置された知財部門としての気づき、そして「Umios株式会社」への社名変更プロジェクトに知財部門として参画したなかでの経験を、JPDSサービスの活用事例を交えてご紹介します。	P58 (株)日立製作所 日立知財ソリューション ～次のステージへの取り組み～ 知財業務は今、出願・管理中心の運用から、経営戦略と連動した知財の価値創造へと進化しています。日立の知財ソリューションは、業務プロセスのデジタル化と高度な分析機能により、知財の可視化・戦略活用・意思決定を強力に支援します。	P63 (株)知財塾 企業知財人材に必要な 実務教育のあり方と方法のアップデート 企業の知財人材に求められるスキルは、事業・研究開発に入り込み知財戦略を推進すること、知財権の活用を想定しポートフォリオを形成すること、知財を言語化し専門文書に落とし込むこと、法基準に照らし実務手続を遂行することなど...その範囲は拡がり続けています。こうしたなかで、如何に早く的確に基礎スキルセットを習得できるかは課題であり、教育方法のアップデートについて知財塾と知財の乗校の目線からお届けします。

	10:15～11:00	11:25～12:10	12:35～13:20	13:45～14:30	14:55～15:40	16:05～16:50
A会場	P64 株式会社ユアサポ 独自データで鍛えるAI: 知財文書作成の新スタンダード 自社(自事務所)の過去出願データをAIに学習させ、文書品質を飛躍的に高める最新技術とその効果を実証データを交えて詳しく解説します。	P69 Patsnap 知財,R&D,創業を牽引するAI AGENT新登場 Patsnapが革新的なAI AGENTシリーズNew Eurekaを発表。2025年をAI AGENTの元年と捉え、知財、R&D、創業、材料領域向けに新たな大型製品群を同時リリースします。知財を含むイノベーション情報とAI技術を結びつけ、各分野のイノベーションにパラダイムシフトをもたらします。	P74 クラリベイト・アナリティクス・ジャパン コンテンツ活用が拓く知財戦略の未来: データとAIによる可視化 Salesforceプラットフォームを基盤とした知財管理システムIPfoliolは、導入企業が増加し、知財管理の高度化・効率化を実現しています。本講演では、ユーザーから高く評価されている中核機能、当社の他ソリューションとの連携による業務最適化やAIを活用したアップデート、今後の展望についてご紹介します。	P79 NGB NGB知財事務サービスで、あなたの知財部に余白と機動力を 「属人化・煩雑化・期限不安」——その知財事務の悩み、私たちが引き受けます。特許・商標などの出願・権利化を支える業務を整理・標準化し、実行まで代行。貴社の知財部門に、余白と機動力をもたらします。	P84 発明通信社 知財業務の“あるある課題”をAIで解決! 業務効率化の事例紹介 最近注目を集めているAIですが、知財業務の中ではどのように活用するのが効果的なのでしょうか。本プレゼンでは知財業務の“あるある”な課題に対し、AIの活用によって得られる業務改善のヒントや実務の幅を広げるきっかけとなる事例をご紹介します。	P89 アール・ダブリュ・エス・グループ 生成AIの活用で切り拓く特許翻訳の進化 — 品質・効率向上の新標準 特許に最適な、生成AIを活用した最新の翻訳手法をご紹介します。品質と効率を両立する新たな翻訳ワークフローの可能性を、実例を交えて解説します。
B会場	P65 Kim & Stewart LLP 生成AIで実現する、合理的な米国特許実務のコスト削減策 高コストな米国特許取得において、多くの日本企業や特許事務所が生成AI活用を模索しています。本講演では、日本の出願人・代理人が生成AIを用いて、米国特許実務のコストを合理的に削減するための具体的な施策を提案します。	P70 パテント・インテグレーション 中小企業優秀賞受賞! 「サマリア」のAI新機能のご紹介! 知財系生成AIサービスで唯一となる、リそな財団主催「中小企業優秀新技術・新製品賞」を受賞した特許読解支援AIアシスタント【サマリア】の新機能を紹介。企業知財において、拒絶対応からIPランドスケープまで、様々なシーンで日常の知財実務を強力にサポート。特許取得済の多数の当社独自技術を簡単にご紹介します!	P75 プロパティ 特許業務における大規模言語モデルLLM(生成AI)の活用 従来のマイニング技術と大規模言語モデル(生成AI)の具体的な相違点を整理しながら、自動分類、フラグ付、課題解決マップの作成等の特許業務における大規模言語モデルの活用について説明します。また、発明提案書からの明細書変換、拒絶理由対応、明細書翻訳、調査計画、特許データの俯瞰等ができる特許業務向けのBrainTalk(新製品)の紹介をします。	P80 IP-RoBo AI導入で進化する特許事務所の業務と顧客サービス 商標調査AI【TM-RoBo】導入で業務はどう変わる?AI関連特許出願を多数手がける中辻弁理士が語る【劇的効率化】の秘訣!懸念だったAIの識別力判断をどう乗り越え、調査漏れリスク解消、新案件獲得、人材育成まで実現したのか。AI活用最前線のリアルな声を、AI技術に精通している弁理士の目線で語っていただきます。	P85 Phrase Phraseの翻訳 AIエージェントが変える、特許翻訳の未来 特許翻訳では、用語の統一や表現の一貫性といった高い翻訳品質が求められる一方、短納期対応やコスト削減といった課題も存在する。本セミナーでは、Phraseが提供するAIエージェント機能を活用し、これらの課題を解決するためのワークフロー最適化の手法を紹介する。翻訳品質を維持しながら、業務効率化を実現したい方必見。	P90 エムニ 松尾研発!時間・コストを99.9%削減! 「AI特許ロケット」 AI特許ロケットはLLMを始めとする独自のAI技術を用いて、数百～数千件の特許の全文を精査・分析し、戦略の元になる示唆を圧倒的なスピード・低コストで提供します。得られる示唆の例として、高精度特許マップを作成し、競合企業や業界トレンド、自社のアイデアに対して類似性の高い特許の提案などが挙げられます。
C会場	P66 VALUENEX R&Dインテリジェンスの促進に向けた特許情報活用 VALUENEXは、特許などのビッグデータを俯瞰的に解析するソリューションを通じて、企業のR&Dインテリジェンス機能の強化とイノベーション創出の支援を行います。本セミナーでは、俯瞰解析や生成AIを活用した事例をご紹介します。	P71 アイ・ピー・ファイン 生成AIで加速、無限の可能性! 3つの業務革新「AIワーカー」 R&D知財グループウェア【THE調査力AI】とR&Dランドスケープ【IIC】に生成AIを活用した3つの機能を搭載! ①内容の要約やKWの抽出 ②他社製品との類似度を調査「製品情報リサーチ」 ③自由入力で情報収集や整理ができる「マイAIワーカー」業務を加速させる次世代機能を、ぜひご体験ください。	P76 NGB ポートフォリオ構築のための特許分析新指標と生成AI活用の可能性 生成AIを活用した特許分析に役立つ情報収集と、出願や放棄のメガトレンドに関してNGBが提供する新指標による特許分析を融合し、客観性と戦略性を備えた特許ポートフォリオ分析について発表します。年金管理等の知財コストの費用対効果向上に有効な特許ポートフォリオの分析事例を紹介します。	P81 NGB株式会社Samrai ×トヨタテクニカルディベロップメント 知財情報の価値とは? 技術革新がもたらすIPランドスケープの進化 近年、経営戦略立案にIPランドスケープを活用する企業が増えています。このため、トヨタテクニカルディベロップメントは2025年4月にIPランドスケープの専門グループを立ち上げました。IPランドスケープの実践に際して、公開情報や特許情報の収集、社内情報の活用にお悩みの方へ解決に向けたヒントを提供できれば幸いです。	P86 NGB 中国知財訴訟における証拠の重要性 統計によれば、最近の中国専利民事訴訟の件数は、米国の約15倍、日本の約70倍に達しています。弊社ではそれに対する備え、すなわち「知財セキュリティ」を提案します。中国における裁判では証拠認定のハードルが高く、日々の証拠収集が重要です。証拠の重要性と収集の方法について解説・提案します。	P91 IPTech弁理士法人 生成AIの特許事務所における活用方法と注意点の紹介 IPTech弁理士法人では、社内ガイドラインを定めクライアントへの案内をしたうえで、2025年4月1日から業務において生成AIツールの活用を始めています。特許事務所が生成AIツールの利用を開始するために注意すべきことと必要なこと、また実際の利用のノウハウや留意事項などをご紹介します。
D会場	P67 クラリベイト・アナリティクス・ジャパン 知財管理システムIPfolioが実現する効率化・AI活用 Salesforceプラットフォームを基盤とした知財管理システムIPfoliolは、国内外で導入企業が着実に増加し、知財管理の高度化・効率化を実現しています。本セッションでは、ユーザーから高く評価されている中核機能、クラリベイトの他ソリューションとの連携による業務最適化やAIを活用した最新アップデートと今後の展望などについてご紹介します。知財を戦略資産として活用するためのヒントを、ぜひお持ち帰りください。	P72 マークアイ 「ブランドTLD」次回ラウンド開始 〜いま必要な知識とは?〜 知らないと乗り遅れる!2026年4月、ブランドTLDの新申請がいよいよスタート。14年ぶり、2回目の申請が開始される今こそ、自社のドメイン戦略を見直し、ブランドTLDの活用価値を再確認する絶好のタイミングです。Com Laude株式会社村上氏が活用メリットや申請に向けた準備のポイントを徹底解説!	P77 トヨタテクニカルディベロップメント swimyの生成AIエージェントでイノベーションを加速する 発明アイデアを入力するだけで、図やフローチャート付きの発明提案書を自動生成。さらに、技術概要を入力するだけで特許情報を分析し、グラフ付きの解析レポートまで自動作成。化学式や数値範囲にも対応し、発明創出から特許分析までを一気通貫で支援するswimyの最新生成AIエージェントの進化を、本セミナーでぜひご体感ください。	P82 GMOブランドセキュリティ 14年ぶりのチャンス到来! ブランドTLDの徹底活用術! インターネット上の極上の一等地である「ブランドTLD」を活用して、ガバナンス、ブランドセキュリティ、マーケティング・ブランディングを強化しませんか。ブランドTLDの取得から活用までを企業の具体的事例とともに網羅的にご紹介します。参加特典:「ブランドTLD徹底活用ガイド(1,650円相当)」を特別進呈!	P87 GMOブランドセキュリティ 経営に資する商標マネジメント ブランディングと商標登録は、企業が市場での競争優位性を確立・維持するうえで密接に関わっています。本セミナーでは、商標を単なる権利保護の手段としてだけでなく、経営資源として積極的に活用する視点から、具体的な事例を交えて、役立つ活用法をご紹介します。	P92 AI Samurai 「知財×AI」で切り拓く、新たな発見と共創の未来 特許業務は人間だけが担うもの——そんな“天動説”は過去のものとなりつつあります。AIが発想を提示し、人間がそれを発見し、更なる創作をして発明へと昇華させる。今、知財の世界はAIという“地動説”へと大きく動き出しました。知財×AIが生み出すのは、効率化だけでなく、人とAIによる共創の未来です。
E会場	P68 root ip 知財管理効率化の最前線AIエージェント／管理システム連携 AIと管理システムを融合させ、知財業務の自動化と効率化を加速します。企業と事務所間のデータ連携がroot ip内で完結し、メール受信に基づくタスクの自動処理も実現。特許庁とのデータ連携、データ診断機能、APIなど最新機能と導入事例を交えてご紹介します。	P73 ASU 新製品「PPW8」(ATMS/PPW後継品)のご紹介 *出願支援ソフト新製品「PPW8」の各種機能をデモンストレーションを交えてご紹介します。 1.(新)図面一括処理、配列表出力等 2.(新) PCT-RO、英文明細書処理、特殊申請支援ツールPPW8への移行方法等も説明いたします。 *J-Check8(WORD規定外文字チェックツール)のご紹介。	P78 Questel(サイバーパテント) AI×知財管理システム×サービスによる統合ソリューション 知財管理システムにAIと実務支援サービスを組み合わせた統合ソリューションの最新動向をご紹介。出願・翻訳・年金管理、OA対応を含む実務の効率化と最適化を、実際の活用事例を交えて解説します。	P83 日本パテントデータサービス 江崎グリコマーケティングにつなげる商標戦 江崎グリコ株式会社では、JPDSの「Brand Mark Search」を活用して、日本国内で新しく出願または登録された商標のウォッチングを定期的に行っている。この中で、商標の出願・登録状況を分析するだけでなく、商標から読み取れる世の中の新しい動きやトレンドの気付きなどマーケティング部門と連携している。今回は具体例を挙げながら、マーケティングにつなげる江崎グリコの商標戦略についてご紹介。	P88 Patentfield Patentfieldが描く「生成AI×特許情報」の次世代化 日米欧中韓の特許情報を標準搭載し、「生成AI調査・分析オプションPatentfield AIR」で、膨大な中国特許を生成AIでノイズ判定や評価分析等が可能に。次にPatentfieldが描く特許情報へのアクセス(調査・査読・分析)をさらに容易にする次世代の特許調査・分析システムをご紹介します。	P93 アイビーリサーチ ■特許専用LLM■が戦略的に明細書生成! 特許に特化した生成AIが各段落を順に生成し、戦略的かつ高品質な明細書作成ができます。 ※一切クラウド等にはアクセスいたしません。 特許専用LLM単独で明細書生成が可能です。 指定分野の公報データをデータベース化することでRAG方式の利用も可。